公表　保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日　2025年　11月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　草加八潮教室

保護者等数(児童数)　25名　回収数　23件(割合92%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	２２件			1件	いつもきれいになっている。	清掃や整理整頓を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	２１件	１件		１件		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	２２件	１件		２件	写真などを使いとても分かりやすく工夫している。	職員でアイデアを出し合い、更に安全な環境を整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	２3件				友達の状況により部屋を分けていることを子どもから聞いている。 収納され片付いていると思う。	個々の情緒の状態に合わせて臨機応変に対応している。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	２１件	２件			支援内容も臨機応変に対応できている。 わかりやすい声かけをしてもらっている。	保護者様と情報共有を行い、適切な対応を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	２３件					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	２３件				話合いをして計画作成している。	余裕をもって面談のお知らせをする。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	２３件					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	２３件				送迎時等、活動の様子・変化を伝えてくれる。	児童一人一人の支援目標の共有を確実に行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	２０件	３件			活動表を見ると工夫されていると感じる。	曜日固定の児童を中心に職員で話し合いをしながら活動を決定している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	１件	４件	２件	１６件	図書館には行ったが地域の子どもと活動する機会はない。	土・日曜日に偏った活動になってしまっているため、長期休みを活用していく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	２３件					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	２３件				デイでの様子を踏まえた説明で わかりやすい内容に安心感が持てる。	可能な限り対面での説明を心掛けている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	３件	４件	１件	１５件	あまりないが参加する予定もない。	年に一度、研修を実施しているが周知不足なところもある。 ラインや手紙配布で周知する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	２２件		１件			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	２３件				悩み事にアドバイスをくれたり、教室での頑張りを教えてくれる。	お仕事など都合がつかないことを除き、最低でも６か月に一度は面談を実施している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	２３件					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	２件	４件	１３件	３件	参加したことがない。 参加する予定もない。	希望者が少なかったため父母会や兄弟衣を含めたイベント開催の予定を立てていなかった。 年に一度は開催できるように努めていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	２３件				急な相談や申し出にすぐに対応してくれる。	ライン連絡に気付くことが遅くなってしまうことがあるため、注意し早急に対応できるようにしたい。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	２３件				その日の様子や出来事を教えてもらうことで、家での会話やサポートに繋がる。	お子さんからの報告も大事にしていただきたいと考えている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	２０件	１件	１件	１件		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	２２件			１件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	２１件	１件		１件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	２０件	１件		２件		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	２２件			１件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	２２件	１件			子どもが泣いた時の出来事を説明してもらえる。	万が一、事故があった時の報告はしっかりとできる体制を都とtの得ている。万が一がないように注意する。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	２３件				心のよりどころになっていると思う。 職員を信頼している様子が伺える。	謝ること・約束など大事な事をしっかりと守りこどもたちとの信頼関係を築いていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	２３件				仲良しの友達がいる日は特に楽しみにしている。	今後も楽しく通所していただけるように、活動にも工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	２３件				子どもにわかりやすい声かけをしてもらっている。	お子様のスキルアップを見逃さずに、成長に会った支援をする。

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日　2025年　11月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　草加八潮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14件		利用人数の確認。	運動活動の際の見守りを更に強化し、ケガのないようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	14件		最低人員以上の職員を配置している。	職員の体調不良時の時の対応・対策。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14件		気になる点は事故防止のため、ヒヤリハットの記入をし、共通認識をしている。	定期的にジョイントマットの交換や角クッションの設置。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14件		必要に応じてジョイントマットの点検・交換を行っている。	余裕を持った清掃時間の確保をする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14件		児童の様子を把握し、すぐに移動し対応している。	職員の共通認識ができるようにする。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14件		終礼・朝礼。 翌日の申し送り。 ホワイトボードの活用。	シフトによりスムーズな伝達が出来ない点を減らし、職員のコミュニケーションの取れる場を増やしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14件		送迎時のコミュニケーション。 連絡帳やラインでの情報交換。	アンケートだけでなく、問題点を不安なく伝えていただけるように心掛けていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14件		終礼・朝礼。	管理者の一方的な発言にならないように努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14件	特になし。	現時点では第三者評価については実施していない。 今後については検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14件		特になし。	定期的に研修を実施する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14件		実施している。	活動表を配布している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14件		説明時に保護者のニーズ・本人のできることに合わせてスキルアップに繋がる支援計画を心掛けている。	特になし。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14件		個別支援計画書原案作成の前にも職員と検討を行っている。	特になし。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	14件		特になし。	特になし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14件		特に問題なし。	日々のスキルアップを把握していく。 面談等で保護者との共有をしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14件		特に問題なし。	地域支援・地域連携を意識した活動を積極的に取り入れていくようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8件	6件	職員それぞれのアイデアを組み込んだプログラムの作成をしている。	利用児童に適したプログラムの組み合わせを行うと共に偏りを減らしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14件		保護者のニーズに合わせたプログラム作成をしている。	利用児童に適したプログラムの組み合わせを行うと共に偏りを減らしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12件	2件	集団活動の中でも個々の課題を踏まえて関りを持っている。	静かな活動時間帯に更に積極的に個別活動の時間にできるように意識して取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11件	3件	学校からの申し送りの共有をしている。	全体に共有できるように心がける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14件		終礼。 業務日報。	意見を踏まえた報告ができるように、時間の確保を心掛ける。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14件		記録漏れがないようにホワイトボードを活用し、職員間での情報共有。	定期的な支援会議の回数を増やす。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14件		特になし。	面談・見学時に保護者とともに振り返りを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	14件		特に問題なし。	職員からの意見や様子の聞き取りをまとめたうえで、児発管が対応。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14件		自己選択・自己決定・自己責任を意識して声掛け・支援を行っている。	特になし。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14件		特に問題なし。	職員からの意見や様子の聞き取りをまとめたうえで、児発管が対応。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14件		保護者の承諾の上、必要に応じて共有している。	相談支援員とも積極的に情報交換ができるように心がけていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14件		各学校によって情報共有の仕方が異なる。	電話で対応していただける機会を増やしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		14件	特になし。	指導発達支援から契約持続の児童が多いため。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		14件	該当なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1件	13件	特になし。	草加市連絡協議会の研修会に出席。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		14件	曜日に偏りはあるが、活動を変更して児童館に行く機会を設けている。	長期学校休校日に機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1件	13件	草加市連絡業議会。	今後も積極的に出席。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14件		送迎時に確認。 近況の課題などの情報共有を行っている。	余裕を持った送迎を組むことで、 時間を気にせずに話していただけるようにする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1件	13件	年に一度実施。	周知の仕方がわかりづらかったため、 保護者の認識に繋がっていなかった。 わかりやすい周知を検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2件	12件	問題なし。	面談時に不明点の確認、変更が生じた際には説明を忘れすに行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14件		問題なし。	特になし。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	14件		個別支援計画書説明を行っている。	特になし。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14件		送迎時を活用し、直接説明ができるようにしている。	特になし。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		14件	実施していない。	年に一度は開催できるように 職員で意見を出し合い実現に近づける。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8件	6件	時間がかかてしまう事もあるが、 対応できている。	相談を受けた職員からの報告漏れがないように、終礼の時間の確保に努め、 その日のうちに返答ができる環境を整える。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8件	6件	公式ライン登録。 公式ラインを使って連絡がスムーズに行えるよう対応をしている。	特になし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14件		鍵付きのロッカーに保管。 職員との誓約書。	特になし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9件	5件	連絡袋の使用。 公式ライン。 連絡帳。	特になし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		14件	実施無。	今後は検討。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14件		避難訓練の実施。 活動表に記載。 マニュアルあり。	災害時の連絡訓練の実施を検討中。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14件		消防署に届け済。 年3回実施。	火災・地震・水害を想定。 消火器の使用方法。 職員通報訓練。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9件	5件	契約時に詳細を聞き取り・情報保管。	特になし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9件	5件	特に問題なし。	保護者から説明を受けて対応している。 食材に関しては事業所からの提供無。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9件	5件	避難訓練の実施。 研修。	反省点を振り返り、次回の避難訓練の計画書作成を行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9件	5件	未実施。	契約時に避難場所の説明はしているが、一度にせずに年度初めに必ず周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14件		ヒヤリハット記入の上、終礼・朝礼で共有。 対策の話合い。	特になし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14件		研修。	暴力以外の虐待の存在を忘れないように、危険性のある場面を想定して話合い。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4件	10件	パニック・自傷行為がある児童の個別支援計画書には記載。 説明も行っている。	緊急時の対応として起こりえる身体拘束については説明済み。 ※外出時の飛び出し・災害等危険な場合。